

在シドニー総領事通信

第 71 回 Japanaroo 2022、ダーウィン訪問と離任のご挨拶

令和 4 年（2022 年）9 月 21 日



沖縄フェスティバル（2022 年 9 月 3 日）

シドニーでの 3 年近くの任期が終わり、いよいよ離任の日となりました。これまでお世話になった皆様に、改めて感謝の気持ちを申し上げます。皆様のご助力で、新型コロナウイルス対応をはじめ様々な課題を乗り越えて、日豪関係を一層強化する役割を果たすことができました。

離任に先立って、Japanaroo 2022 の諸行事に出席し、ダーウィンを訪問することができました。最後の総領事通信では、これらの行事について皆様にご報告するとともに、離任のご挨拶をさせていただきたいと思います。



Japanaroo Trivia Night (2022 年 9 月 7 日)

●Japanaroo 2022

9 月 3 日（土）から 11 日（日）まで、[Japanaroo 2022](#) が開催されました。私も出来る限り多くの行事に参加して、主催・出展・参加されている皆様に挨拶させていただきました。

初日に開会行事としてシドニー大学グレートホールで開催された JAPAN EXPO 2022 は、雨天にもかかわらず 5 千人以上が来場する大賑わいでした。日本食や観光など各ブースには行列ができ、ステージでも人だかりができて、将来の発展の可能性を強く感じました。同日夜の沖縄フェスティバルも、同ホールが 300 人以上の観客で満席となりました。シドニーのみならず沖縄やパースからの出演者による素晴らしい演奏やパフォーマンスで大変盛り上がりしました。

また、9 月 7 日（水）に市内ホテルで開催された Japan Trivia Night には、主催者の JET 同窓会 NSW 州支部や豪日協会 NSW 州支部関係者をはじめ百名近くが参加して、オーストラリア流の司会進行で、日本に関する様々なクイズを皆で楽しんでいました。



チャッツウッド日本祭り（2022年9月10日）

そして、閉会直前の9月10日（土）には、日本人が多数在住するシドニー北部チャッツウッドのモールで、チャッツウッド日本祭りが開催されました。中央のステージでは音楽やダンス、チアリーディングなどのグループが次々とパフォーマンスを行い、ブースではたこ焼きや焼きそばの屋台が並び、生け花、書道、墨絵、茶道などのワークショップには多くの豪州人も参加して文化交流を楽しんでいました。

開会式には山上駐豪大使やテイラー・ウィロビー市長も出席して挨拶を行い、シドニー日本関係3団体代表とともに、私も鏡開きに参加させていただきました。このシドニーの日本祭りは、当地の日本人コミュニティの気持ちを一つにまとめる行事として発展していることを実感しました。



護衛艦きりさめのダーウィン寄港に際しての伊号第 124 潜水艦追悼式典
(2022 年 9 月 11 日)

●ダーウィン訪問

9 月 11 日（日）から 14 日（水）まで、ダーウィンに出張しました。今回の訪問は、護衛艦きりさめが豪州海軍主催の多国間海上共同訓練カカドゥに参加するためダーウィンに寄港するのに合わせて行ったものです。

9 月 11 日（日）には、カカドゥ関連会議に参加するためダーウィンに来訪した福田達也護衛艦隊司令官の主催で、伊号第 124 潜水艦の慰霊碑前で、豪側要人・海軍関係者の臨席の下で追悼式典が行われ、私も出席しました。

同潜水艦沈没とダーウィン空爆 80 年に際して新たに設置された慰霊碑の前で、護衛艦きりさめの乗員による弔銃斉射が行われました。今や、この地が日豪のパートナーシップを確認する場となっていることを嬉しく感じました。



ファイルズ北部準州首席大臣への離任挨拶（2022年9月12日）

今回で、北部準州への出張は10回目、ダーウィンへの出張は9回目になります（1回はアリススプリングスとウルルへの出張）。コロナで北部準州が厳しい州境規制を行ったにもかかわらず、平均して4か月に1回の頻度で北部準州を訪問して、日本と北部準州の関係強化に取り組むことができました。

離任前の最後の訪問ということで、9月12日（月）にファイルズ首席大臣、マリー野党副党首、モナハン準州議会議長、バツカリス・ダーウィン市長に離任挨拶を行いました。

ファイルズ首席大臣とは、本年7月に初めての外遊として訪日した際の成果を確認し、これまで3年間の努力が実を結んだと感じました。また、マリー副党首、モナハン議長、バツカリス市長も日本との関係を大変重視しており、今後、ビジネスや人的交流など更なる関係強化を期待していました。



北部準州公文書館での藤田サルベージ史料の視察（2022年9月13日）

9月13日（火）、北部準州公文書館（Northern Territory Archives Centre）を初めて訪問しました。前回6月にダーウィンを訪問した際、藤田銑一郎氏が2010年に藤田サルベージ関連史料を同公文書館に寄贈したことを知ったので、その内容を確認して、より多くの人たちに日豪の和解の歴史を知ってもらいたいと思ったからです。

公文書館では、北部準州図書公文書部のガーデン次長と同遺産部のウェルズ部長に迎えられ、寄贈された写真や動画が大切に保存されているのみならず、寄贈を機に特別展が開催され、史料（[ウェブサイト](#)・[動画](#)）はオンラインで簡単にアクセス可能になっているとの説明を受けました。当時、藤田氏が大量の写真や動画を撮影し史料として残したのは、この沈没船引き上げ作業の歴史的意義を確信していたからであろうとのことでした。

1960年のダーウィン記念連合教会開設時に、引き上げた船のブロンズで鋳造し寄贈した77本の十字架は、今も同教会内の至るところに飾られています。今回、ダーウィン記念連合教会を訪問して離任前の最後の挨拶を行った際に、和解と交流の歴史の重みを改めて感じました。



北部準州豪日協会（AJANT）への総領事表彰授与（2022年9月13日）

同日、ダーウィンでの最後の晩は、市内のホテルで[北部準州豪日協会（AJANT）](#)への総領事表彰授与式を行いました。

AJANT は、ダーウィンを拠点に日豪文化交流行事を長年行ってきました。2017年の伊号第124号潜水艦沈没・ダーウィン空爆75年に際して、日豪両政府の協力を得て伊号第124号潜水艦慰霊碑を建立し、2020年には癒しの樹を植樹し、本年の同80年に際しては、80名の乗員の氏名を記した新たな慰霊碑を建立しました。

私自身、これまで3年の間、ダーウィン訪問の際は必ずAJANTの役員や会員の皆様と意見交換や懇親の場を持ち、AJANT主催の映画祭で挨拶するなど行事の後押しをしてきました。特に、新たな慰霊碑の建立に向けて、AJANTと在豪州日本国大使館、北部準州遺産部の代表と定期的なオンライン会合を開催して準備を進めたことは思い出に残る仕事でした。離任前に、AJANTの貢献に対して顕彰することができ、光栄に思います。



Japan Expo 2022 と Japanaroo 委員会の打ち上げ会（2022 年 9 月 16 日）

●離任のご挨拶

私の離任に際して、多くの皆様から歓送会にお招きいただきました。また、総領事公邸での離任レセプションにも多数ご参加いただきました。おかげさまで、この3年間に皆様と一緒に取り組んだ様々な行事を思い出しながら、大変楽しい時を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

当地で幅広い分野の仕事を全うできたのは、ひとえに皆様のご助力があつてこそだと思っております。離任に際してのご挨拶を[動画](#)と[テキスト](#)でウェブサイトに掲載しましたので、お時間がありましたらご覧いただければ幸いです。

この総領事通信も、今回で第71回となりました。平均して月2回のペースで発行したことになります。様々な活動の経緯を記した[バックナンバー](#)が、将来の更なる関係強化に向けて活用されるようお願いいたします。

今後、当地で得られた経験を生かし、皆様とのご縁を大切にしながら、新たな仕事に取り組んでいく考えです。今はインターネットで世界中どこでもつながっていられますので、末永くよろしくお願いいたします。皆様の更なるご発展をお祈り申し上げます。

在シドニー日本国総領事 紀谷昌彦